



アジア諸国における3Rの戦略的実施支援事業拠出金

平成28年度予算(案)
49百万円 (30百万円)

背景・目的

- ・アジア諸国の大半は3R関連法が整備されていない。また、これにより循環産業の海外展開が困難。
- ・3R推進フォーラムや3R白書を立ち上げることにより、国家戦略の策定と実施を促進し3R・廃棄物政策の優先順位を上げることが必要。
- ・戦略的に、国連機関の名の下で、効率的に情報収集し、域内各国をまとめることが必要。

事業スキーム

環境省から国際機関への拠出金。

事業概要

(1) 「3R推進フォーラム」の開催経費

アジア太平洋地域各国における3R関連の事業形成や政策立案を促進するため、政府機関、国際援助機関、民間セクター等が参加する「アジア太平洋3R推進フォーラム」の開催等を行う。

(2) アジア太平洋3R白書策定経費

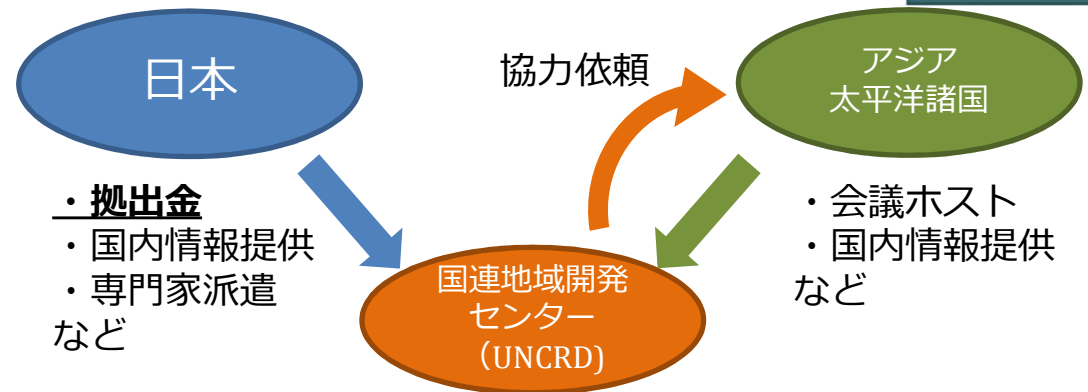
3R推進フォーラムの成果文書（ハノイ3R宣言等）に鑑み、政府、研究機関等と連携し、アジア太平洋地域内の廃棄物や資源循環に関する情報・データ整備及び地域の課題、政策オプションの検討評価を行う白書の作成、出版を行う。

期待される効果

- ・2008年東アジア首脳会議環境大臣会合において我が国がフォーラム設立を提唱以降、6回（2015年）の政務レベル会合を開催。
- ・フォーラムでは、各国の教訓やベストプラクティスの共有や、政策対話等の幅広い関係者の協力の基盤を提供。各国における政策立案や具体的事業形成の進展が報告されている。
- ・3R白書を通じ、廃棄物関連データが未整備なアジア地域の情報整備や課題の分析等を実施。我が国の技術の環境効果や経済効果等の優位性も客観的に示し、循環産業の海外展開を促進。

事業目的・概要等

イメージ



- ・国際機関として、アジア太平洋地域のとりまとめ
- ・アジア太平洋3R推進フォーラム開催
- ・アジア太平洋3R白書の作成、出版



第5回フォーラム（スラバヤ）

アジア太平洋地域における戦略的な3Rの推進